

ゆうかいだより No.3



和歌山県立和歌山ろう学校 2025年10月発行

涼しい風がふいて、すっかり秋らしくなってきましたね。校庭の木の葉も、少しずつ赤や黄色に色づいてきました。外で体を動かすのが気持ちの良い季節になりました。

春から毎日のようにテレビやインターネットのニュースで見聞きしていた大阪・関西万博が10月13日で閉幕されました。小学部・中学部・高等部のみなさんは遠足で行きましたね。次回は2030年にサウジアラビアで開催されるそうです。

11月には東京デフリンピックがはじまります。これは、耳がきこえない人たちのためのオリンピックで、世界中からたくさんの選手が日本にやってきます。ろう学校にもキャラバンカーや選手の方々が来校し、みんなで応援の気持ちを伝えましたね。みなさんで盛り上げましょう。

手話施策推進法って？

2025年6月25日「手話に関する施策の推進に関する法律（手話施策推進法）」が施行されました。「手話に関する施策を進めていこう」と国が「法律」として決めました。（内閣府HPより）

基本の考え

- ① 手話の習得・使用に関する必要な環境整備を整える。
- ② 手話文化の保存・継承・発展を支援する。
- ③ 手話に関する国民の理解と関心を深める。

具体的な取組

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ① 手話を必要とするこどもの手話の習得の支援 | ⑦ 手話文化の保存・継承・発展 |
| ② 学校における手話による教育等 | ⑧ 国民の理解と関心の増進 |
| ③ 大学等における配慮 | ⑨ 手話の日の制定（9月23日） |
| ④ 職場における環境の整備 | ⑩ 人材の確保等 |
| ⑤ 地域における生活環境の整備等 | ⑪ 調査研究の推進等 |
| ⑥ その他の手話の習得の支援 | ⑫ 国際交流の推進 |
| | ⑬ 手話を使用する者等の意見の反映 |

手話マーク

（全日本ろうあ連盟HPより）



手話言語の国際デー

毎年9月23日は「手話言語の国際デー」です。2017年に国連総会で決議されました。日本では「手話の日」と制定されました。手話が言語であることを周知啓発するイベントとして、ブルーライトアップを全国各地で実施しています。先月、和歌山県内でも各地の施設がライトアップされていました。また来年ぜひ見てください。